



早朝の月

(1月19日)

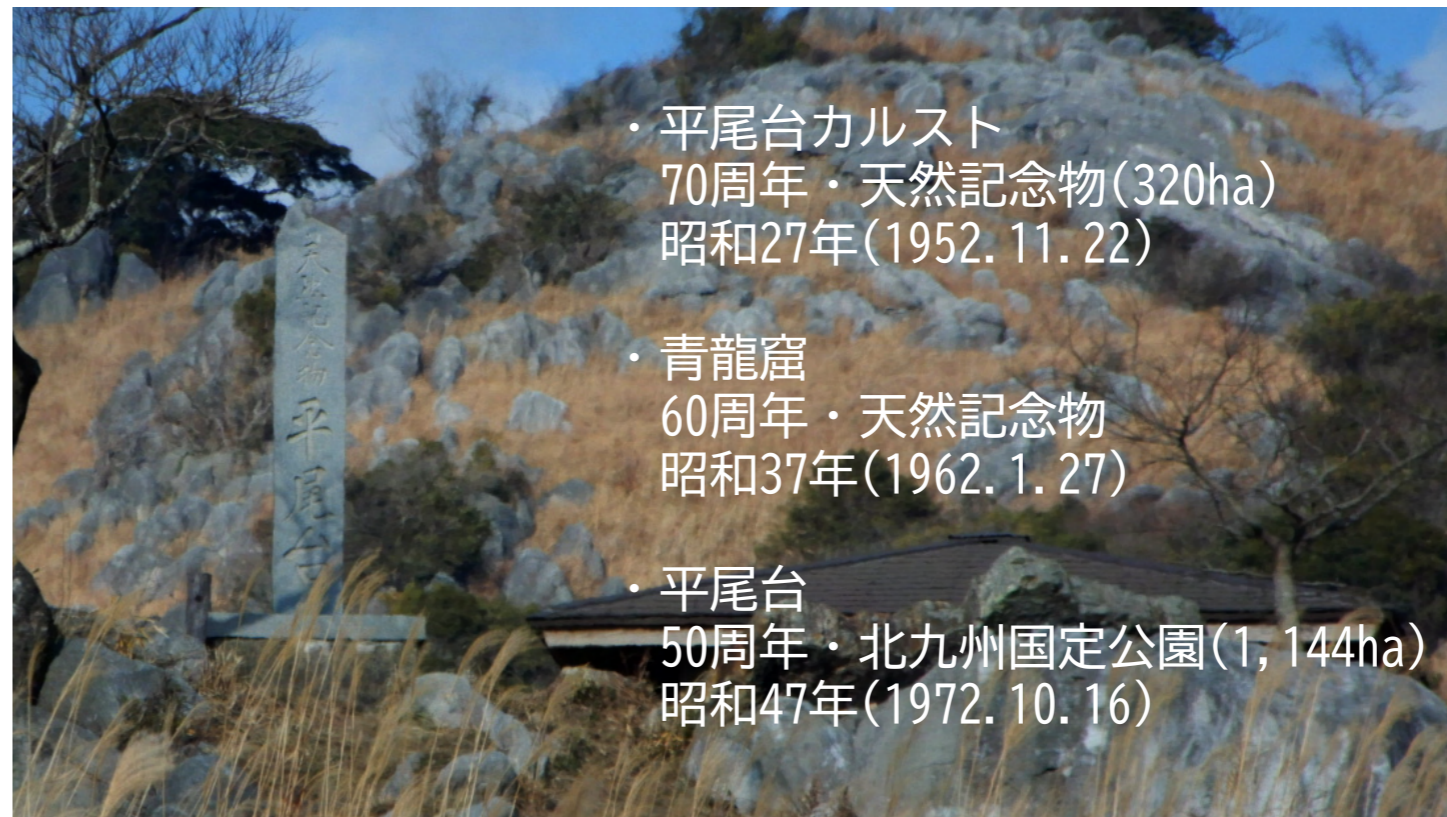
2022年の夜明け



2022年の夜明け。今年も天気も良く朝日が昇って行くのを観賞する事が出来ました。平尾台自然の郷には約1500人の入場者があったそうです。風神台、茶ヶ床園地も大勢の人達がやって来ました。



ナンテン (メギ科)



・平尾台カルスト
70周年・天然記念物(320ha)
昭和27年(1952. 11. 22)

・青龍窟
60周年・天然記念物
昭和37年(1962. 1. 27)

・平尾台
50周年・北九州国定公園(1,144ha)
昭和47年(1972. 10. 16)

平尾台は終戦後(1945)、明治時代から続いた軍用地から解放され、農地開拓、市民の憩いの場として利用されるようになりました。発端は昭和25年(1950)には毎日新聞「日本観光百選」で高原の部第三位獲得し全国に知られる事になりました。昭和26年(1951)鉱業法改正により石灰石が鉱物として追加され、各セメント会社が試掘出願申請を行う事になりました。鉱山開発か文化財保護かと言う論争が起こり、国会での議論や高裁、最高裁で審議の場が持たれました。昭和44年(1969)鉱区禁止区域が指定され、開発、保護、緩衝地区に別れました。約20年を掛けて平尾台は持続可能な開発の為の「共生の場」となりました。平尾台は1世紀近い昔からSDGsの思いで守られたのです。



平尾台



龍ヶ鼻 ↓小岳(536m)

昭和28年に小倉市が作った22頁に渡る平尾台PRパンフレット。中峠から龍ヶ鼻を望む。龍ヶ鼻の前面には現在は無い小岳が写っています。



1月20日

せんがんいわ

千貫岩



キャベツ畑

長期予報では雪が多いとの事でしたが、昨年12月、今年1月中は県道が通行止めになるような降雪はありませんでした。

2月のイベント情報

★真冬の風穴巡りハイキング

開催日: 2022年2月27日(日)

時間: 13:00~15:30

定員: 20名

コロナの蔓延状況によって変更になる場合もあります。

★鍾乳洞コウモリ観察会

開催日: 2022年2月11日(金・祝)

時間: 13:00~15:30

定員: 30名

★散策コース整備ボランティア

開催日: 2022年2月12日(土)

時間: 9:00~12:00

中止になりました

※往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。
※1枚のハガキで4名まで申込可、全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。中学生以下は保護者同伴。 ※切は開催日の10日前まで必着。



ニオイタチツボスミレ?

(スミレ科)

1月26日



アオキ (ガリア科)

〒803-0180 福岡県北九州市小倉南区平尾台一丁目4番40号

Tel. 093-453-3737 Fax. 093-452-3739

ホームページアドレス <http://www.hiraodai.jp/hnoc/>

Mail hiraodai@cronos.ocn.ne.jp

〈開館時間〉9:00 ~ 17:00 〈休館日〉月曜日(祝日の場合は翌日)



ヤドリギ

(ビャクダン科)

春の訪れ・野焼き

2月26日毎年恒例の野焼きが行われました。

平尾台は人が生活を営み、手を入れる事で保たれて来た半自然です。

野焼きを行わなければ平尾台は草原から森林に変わってしまいます。自然がまだ身近で農耕が盛んだった時代、平尾台の草は近隣の村々の大切な資源で「茅(かや)刈り」「干草(ひぐさ)刈り」は重要な仕事でした。使用用途は萱葺屋根、牛馬の飼料、肥料等など。野焼きは枯れて倒れた草を焼く事により、新しい芽に太陽の光が良く届き発育が促進されます。また枯草を定期的に除去しないと、山火事が起こりやすい状態になります。野焼きが終わった吹上峠をイノシシや鹿の群れが走り回っていました。これから様々な草花が生育を始めます。

※いつ頃までかわかりませんが、麓の人達が野焼きを見ながら歌った「山焼きヤン三郎」で始まるわらべ歌があったようです。



大平山



福岡市消防ヘリ
ほおじろ



センター裏



見晴台野焼き前



見晴台野焼き後



ニホンジカ

2月に入りようやく冬らしい積雪の日がありました。しかし道路の積雪も日中で融けてしまう程度でした。昔は3月に1度なごり雪が降り、それから暖かくなっていましたが、そのサイクルもいつの間にか変わってしまいました。



2月16日平尾台

羊群原
ようぐんばる



かいがらやま
貝殻山



小倉市発行「平尾台」より(昭和30年代)

昭和30年代の小倉市の平尾台観光パンフレットを見ますと、スキーを楽しむ人たちの写真が掲載されています。

吹上峠(馬ノ背台)、中峠にスキーゲレンデがありました。

3月のイベント情報

★平尾台モノクロハイキング

開催日：2022年3月27日(日)

時間：9:00~15:00

定員：20名

★散策コース整備ボランティア

開催日：2022年3月12日(土)

時間：9:00~12:00

コロナの蔓延状況によって中止・変更になる場合もあります。

※往復ハガキにイベント名、参加者全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。

※1枚のハガキで4名まで申込可。中学生以下は保護者同伴。

※×切は開催日の10日前まで必着。

〒803-0180 福岡県北九州市小倉南区平尾台一丁目4番40号

Tel. 093-453-3737 Fax. 093-452-3739

ホームページアドレス <http://www.hiraodai.jp/hnoc/>

Mail hiraodai@cronos.ocn.ne.jp

〈開館時間〉9:00 ~ 17:00 〈休館日〉月曜日(祝日の場合は翌日)

野焼き後の広谷を歩く



ガビチョウ
(チメドリ科)

今年は広谷(湿原)に火が入ってしまい、地形などがはっきりとわかる状態になりました。過去には広谷も野焼きをしていました。

中村平左衛門日記(県指定有形民俗文化財)の文政7年(1824年)に谷村と新道寺村の野焼き論争が少し書かれています、広谷関係は2箇所記述があります。

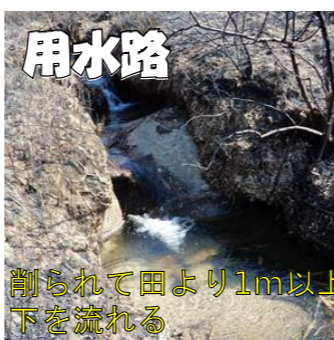
昭和5,6~10年頃、羊が飼われていたそうです。棚田は10箇所あり、米や芋畑だったそうです。それも戦前にやめたとも戦後までやっていたと、文献の記述があいまいです。戦後大観光時代に入り水場なのでキャンプ地として利用されましたがゴミが増え、加えオフロードブームで車やバイクが入り込み環境破壊も起こりました。野焼きが長らく行われておらず入る事が出来なかったのが全域を歩き回ってみました。



広谷



棚田跡



用水路

削られて田より1m以上下を流れる



石切場(墓石?)



サイロ



山伏塚?



?

イベント

■3月27日 モノクロハイキング

今年第一回目のイベントをようやく開催する事が出来ました。

野焼き後の草の無い、今の時期にしか通る事の出来ない道をハイキングしました。野草はまだ探さないと見つからない状態でしたが、晴天の奇岩の並ぶ絶景を見ながら歩く事が出来ました。



ようぐんばる
羊群原



かがり火盆地



モアイ?



丸窓の有る石灰岩



旧西鉄キャンプ場



ウグイスカグラ

スイカズラ科

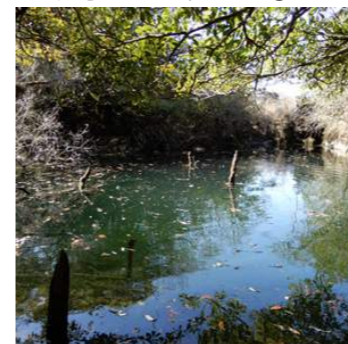


コショウの木

ジンチョウゲ科

■ソウケ窪(昔はそぎお窪と呼ばれていた)

中峠に向かうチェーンの右(東)側のドリーネはソウケ窪と呼ばれています。ドリーネの底に洞窟があったそうですが、1979年に土砂が流れ込んで水が溜まり長さ40mくらいの池になってしまいました、野焼きの後にしか近寄る事が出来ません。



4月のイベント情報

★水晶山登山

開催日: 2022年4月3日(日)
時間: 9:00~15:30

★散策コース整備ボランティア

開催日: 2022年4月9日(土)
時間: 9:00~12:00

★早春の野草観察会

開催日: 2022年4月10日(日)
時間: 9:30~15:00

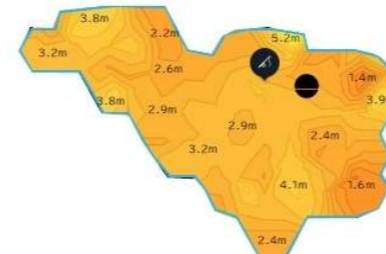
★草刈ボランティア

開催日: 2022年4月21日(木)、27日(水)
時間: 9:00~12:00

★桶ヶ辻急坂登山(中級)

開催日: 2022年4月24日(日)
時間: 9:00~15:00

※往復ハガキにイベント名、参加者全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。
※1枚のハガキで4名まで申込可。中学生以下は保護者同伴。
※切は開催日の10日前まで必着。
※コロナの蔓延状況によって中止・変更になる場合もあります。



深さを計測しました深いので要注意です

2022年 5月号 (No.262)

平尾台自然観察センター

〒803-0180

福岡県北九州市小倉南区平尾台1-4-40

TEL.093-453-3737 FAX.093-452-3739

✉ hiraodai@cronos.ocn.ne.jp

【開館時間】9:00～17:00

【休館日】月曜日(祝日の場合は翌日)



イベント報告

『水晶山登山』4月3日(日)

曇ひとつない散策日和。石灰岩地帯から花崗岩地帯へ地質の違いを観察しながら歩きました。水晶山では水晶探しも楽しみました。
〈参加者〉一般20名、ボランティア5名



貫山

偽水晶山



水晶山登頂

『早春の野草観察会』4月10日(日)

気温20度、穏やかな散策日和。ヒトリシズカ・オキナグサ・ホタルカズラ・スマレ数種など、約50種の野草を観察しました。
〈参加者〉一般23名、ボランティア9名



春らんまん



ホタルカズラ

5月の催し物

水分補給をしっかりと、暑さ対策をして5月の平尾台を楽しみましょう。

『春の野草観察会』

【日時】5月15日(日)9:30～15:00
シランなど春の野草を観察します。

『平尾台三峰登山(中級)』

【日時】5月29日(日)9:00～16:00
ラクダ山・セツ森・塔ヶ峰を縦走します。

『草刈りボランティア』

【日時】5月11日(水)、19日(木)
24日(火)、27日(金)
31日(火) 9:00～12:00

『散策コース整備ボランティア』

【日時】5月14日(土)9:00～12:00

《応募方法》

往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、郵送。
※複数名でのお申込み(4名まで)は、全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記。
中学生以下は保護者同伴。
※メ切は開催日の10日前まで必着。

今年も会えたね！早春の草花たち



大平山

オキナグサ

白ひげを
風になびかせ
オキナグサ

ヒトリシズカ

ヤブレガサ

4月20日

不動山より見る羊群原

フデリンドウ

センボンヤリ

タカサゴソウ

登山者を見守る
マムシグサ

雲海

【撮影】4月25日(月)AM7:30頃／吹上峠展望所

4月25日早朝、北九州市街地は霧に包まれ、霧雨も降っていました。しかし、平尾台に来ると県道28号小倉側24番カーブ辺りで突如、青空が顔を出しました。眼下には見事な層雲の海原が広がっていました。

塔ヶ峰

血倉山

北九州市街地

大平山

〈その後の雲の動き〉

8:30頃 雲が上昇し、平尾台が濃霧になる

9:30頃 再び、麓に雲が下降し消える

広がるボランティアの輪

『登山道 道標整備』4月2日(土)

旧登山道の道標(横山池～吹上峠間10箇所)の付け替え作業を行いました。この活動には登山アプリ(YAMAP)のコミュニティでつながったメンバー16名が、ボランティアで参加しました。車道が開通してからは、利用頻度の少ない自然歩道ですが「多くの方に歩いて欲しい」という願いを込めて、表示を「旧登山道」から「登山道」に変更しました。



新しい道標

「旧登山道」から「登山道」に
表示を変更しました。



作業の様子



回収した古い道標

新・スタッフよりご挨拶

4月より、当館スタッフ2名の顔ぶれが変わりました。ふしぎを探して平尾台中を駆けまわり、神出鬼没な2人です。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



館長
くげ よういち
久下 洋一

今はまっているのは平尾台のあちこちの温度です。カルスト地形がつくる様々な温度環境に魅せられて、毎日ワクワク過ごしています。

【出身地】兵庫県 丹波
【趣味】平尾台のふしぎ探究



イベント・広報
いわもとまさこ
岩本 昌子

こどもの頃の夢は某クイズ番組のミスリーハンターでした。今、平尾台のふしぎを探し歩いています。お花や虫、自然界など広く勉強中です。

【出身地】高知県 中土佐
【趣味】自然観察、巨木巡り

2022年 6月号 (No.263)

平尾台自然観察センター
〒803-0180
福岡県北九州市小倉南区平尾台1-4-40
TEL.093-453-3737 FAX.093-452-3739
✉ hiraodai@cronos.ocn.ne.jp



【開館時間】 9:00~17:00
【休館日】 月曜日 (祝日の場合は翌日)

石のひっじだより

花園へようこそ! 季節がぐんと進み「待ってました!」と昆虫や野鳥たちがやってきました。



カノコソウ (オミナエシ科)

フナバラソウ (ガガイモ科)

タツナミソウ (シソ科)

オカオグルマ (キク科)

ジャケツイバラ (マメ科)

イブキシモツケ (バラ科)

ヤマツツジ (ツツジ科)

石灰岩を嫌い、花崗岩地帯で見られます。今年は野焼き延焼から逃れた株が花を咲かせています。

黄色の花が目を惹きます。鋭いトゲにご用心。

石灰岩を好み、岩に被さるように花を咲かせます。

ノアザミを訪れる虫



【撮影日】 5月20日

アサギマダラ (タテハチョウ科)

ヒメアカタテハ (タテハチョウ科)

モンキチョウ (シロチョウ科)

モンシロチョウ (シロチョウ科)

コムルハナバチ (ミツバチ科)

ハナグモ (カニグモ科)

吸蜜にやってくる虫を待ち伏せ中

野鳥 初鳴き情報

平尾台に足しげく通う方々からの情報やスタッフによる観察を元に記録しています。

ホトトギス 【確認日】 5月13日

雨と濃霧の日、目白洞のそばを通りかると「特許許可局」と鳴き声が聞こえてきました。真っ白な霧の向こうからの元気な声に心がパッと晴れた気持ちになりました。

カッコウ 【確認日】 5月20日

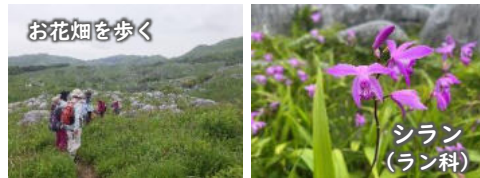
開館準備をしていると、センター裏の丘から「カッコウ」の声!すぐに鳴きやんだので空耳かと疑いましたが、同日、登山中の方からもカッコウの情報が寄せられました。しかし、この日以降に声を聞いたという情報はありません。(5/30時点) 声を聞かれた方は、日時と場所をお知らせください♪



イベント報告

『春の野草観察会』 5月15日(日)

曇空に反して、草原はシラン・カノコソウ・オカオグルマなどで色鮮やか。写真を撮りながら100種類以上もの野草観察を楽しみました。
〈参加者〉一般 20名、ボランティア 10名



お花畑を歩く

シラン (ラン科)

『平尾台三峰登山』 5月29日(日)

ラクダ山・セツ森・塔ヶ峰の三峰を歩く約10kmの中級コース。スタジイの巨木(胸高直径2.5m超)にパワーをもらい無事帰館しました。
〈参加者〉一般 26名、ボランティア 8名



ラクダ山の尾根道

スタジイの巨木

光の森

森のきらめきの正体は?



【撮影日】 5月27日 19:00頃
【場所】 見晴台

夕暮れ時、木の幹が揺さぶられるほど強い風が吹いていました。大きく揺れる森の木々の隙間から、夕陽が差し込み「光の森」をつくり出していました。風の息づかいに合わせてきらめく光が、まるで蛍柱が立っているかのように見えました。

【答え】 夕陽の木洩れ陽

6月の催し物

今年も梅雨がやってきます。

お出かけ前に最新の天気予報をチェック!

おへらやま

『大平山登山』

【日時】 6月12日(日) 9:00~15:00
初夏の風を感じながら羊群原を歩きます。

『広谷湿原野草観察会』

【日時】 6月19日(日) 9:30~15:00
ノナショウブなど湿原の野草を観察します。

『草刈りボランティア』

【日時】 6月7日(火)、14日(火)
21日(火)、24日(金)
30日(火) 9:00~12:00

『散策コース整備ボランティア』

【日時】 6月11日(土) 9:00~12:00

《応募方法》

- 往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、郵送。
- ※複数名でのお申込み(4名まで)は、全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記。
- 中学生以下は保護者の参加が必要。
- ※×切は開催日の10日前まで必着。

《アシナガバチの巣》

人の手が届く高さの枝などに巣を作ります。うっかり枝に触れて巣を揺らしたり、刺激しないよう気をつけましょう。



【撮影日】 5月13日

←女王蜂

初期の巣 (約5cm)

フタモンアシナガバチのようです。5月頃は、冬眠から目覚めた女王蜂が単独で営巣・産卵をする時期。6~8月頃には働き蜂が増え、巣を守るために攻撃性が高まります。この巣は、大人の膝の高さのサルトリイバラにありました。昔から「蜂が低い所に巣を作ると台風が多い年になる」と言われています。蜂には台風予知能力がある?!

2022年 7月号 (No.264)

平尾台自然観察センター
〒803-0180
福岡県北九州市小倉南区平尾台1-4-40
TEL.093-453-3737 FAX.093-452-3739
✉ hirao dai@cronos.ocn.ne.jp



【開館時間】 9:00～17:00
【休館日】 月曜日 (祝日の場合は翌日)

石のひっじだより

短い梅雨

史上最短の梅雨明け発表 (6月11日頃～28日頃の17日間)。期間中の雨は5日程と、雨の少ない梅雨になりました。

【撮影日】 6月13日

カキラン
(ラン科)

梅雨の始め
湿地周辺にしっかりと咲くカキラン

【撮影日】 6月29日

ネムノキ
(マメ科)

梅雨明けとともに
「せーのっ！」で開花したネムノキ

ムラサキ
(ムラサキ科)

コキンバイザサ
(キンバイザサ科)

ウツボグサ
(シソ科)

オカトラノオ
(サクラソウ科)

コバノトンボソウ
(ラン科)

ゴウソ
(カヤツリグサ科)

マイサギソウ
(ラン科)

モウセンゴケ
(モウセンゴケ科)

イベント報告

『大平山登山』 6月12日(日)

平尾台を代表する羊群原コースで大平山と岩山に登りました。この日の最年少6歳のお子様も野草やキノコを探しながら元気に歩きました。
〈参加者〉一般 19名、ボランティア6名



大平山登頂



大平山

岩山でひと休み

『広谷湿原野草観察会』 6月19日(日)

梅雨の晴れ間に、ノハナショウブやカキランが咲く広谷湿原まで歩きました。道中の草原の草本も含めると約90種も見ることができました。
〈参加者〉一般 16名、ボランティア 8名



広谷湿原



ノハナショウブ
(アヤメ科)

ボランティア活動報告

『YAMAPボランティア』 6月4日(土)

登山アプリのコミュニティ仲間が平尾台に集結！茶ヶ床園地周辺の外来植物駆除と健脚コースの草刈りの2チームに分かれて活動しました。
〈参加者〉ボランティア31名



6月4日
オオブタクサ駆除



6月4日
ラクダ山 草刈り

『草刈りボランティア』 計4回

6月7日・17日・24日・30日の計4回、草刈り他植栽剪定や壁一面のツタの除去などをしました。
〈参加者〉ボランティア (計4回) のべ31名



6月17日
センター敷地内
壁一面のツタの除去



6月24日
千貫岩駐車場
ツツジの剪定

7月の催し物

『梅雨のきのこ観察会』

【日時】 7月10日(日) 9:00～12:30
森で梅雨期のきのこを観察します。きのこの女王「キヌガサタケ」に出会えるかも?!

『青龍窟ハイキング』

【日時】 7月16日(土) 9:00～15:00
幾多の歴史と伝説が残る神秘的洞窟「青龍窟」東洞入口ホールを目指して歩きます。

『親子でドキドキ洞窟大冒険』

【日時】 7月31日(日) 9:00～15:00
【料金】 小・中学生 1,500円 (対象:小学4年生以上)
高校生以上 3,000円
約3年ぶりに開催するケイビング体験です。自然のままの洞窟「不動洞」を探検します。

『散策コース整備ボランティア』

【日時】 7月9日(土) 9:00～12:00

《応募方法》

往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、郵送。
※複数名での申込み(4名まで)は、全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記。
中学生以下は保護者の参加が必要。
※メ切は開催日の10日前まで必着。

7月・8月の休館日

7月4日(月)・7月11日(月)
7月19日(火)・8月29日(月)

夏休み期間中は休まず開館しています。
皆さまのお越しをお待ちしています。

『幻のへび』シロマダラ

夜行性で人目に触れることが少なく「幻のへび」とも言われるシロマダラの幼蛇に出会いました。過去に牡鹿洞でやはり幼蛇が見つかって以来の再会です。大人の蛇の目撃情報はまだないようです。



【撮影日】 6月30日

虫こぶ

変形した葉や茎。原因は、何者かからの刺激 (虫などの分泌物や摂食) によるものと考えられています。虫こぶを形成したのは誰のしわざ?!

虫こぶの名前は、[寄主植物名] + [形成される部分] + [特徴] + [フシ] で命名されることが多い。

イボだらけのヌルデの葉
ヌルデハイボケフシ



【形成者】 ヌルデフシダニ

ふくらんだヤブレガサの茎
ヤブレガサ
クキフクレズイフシ



タケウチケブカミバエ

裏側に巻かれたヨモギの葉
ヨモギハベリマキフシ



ヨモギクダナシアブラムシ

2022年 8月号 (No.265)

平尾台自然観察センター

〒803-0180

福岡県北九州市小倉南区平尾台1-4-40

TEL.093-453-3737 FAX.093-452-3739

✉ hiraodai@cronos.ocn.ne.jp

【開館時間】 9:00~17:00

【休館日】 月曜日 (祝日の場合は翌日)



イベント報告

8月の催し物

『梅雨のきのこ観察会』7月10日(日)

「福岡きのこ友の会」から講師をお招きし、きのこの生態や観察ポイントについての座学の後、森にきのこ探しに出かけました。キヌガサタケ・ドクツルタケ・テングタケなど約50種(うち冬虫夏草2種)のきのこを観察しました。



きのこ見つけた♪

- ・蛍光ピンク色
- ・ヌメリあり
- ・地上性

初見のきのこ
ヌメリガサ科?

『夏の野草観察会』

【日時】 8月7日(日) 9:00~12:30
ノヒメユリなど夏の野草を観察します。

『親子でびしょぬれ洞窟大冒険』

【日時】 8月21日(日) 9:00~15:00
【料金】 小・中学生 1,500円 (対象:小学4年生以上)
高校生以上 3,000円

夏の思い出に親子で全身濡れて大冒険!
自然のままの洞窟「不動洞」を探検します。

『大人のための洞窟探検』

【日時】 8月28日(日) 9:00~15:00
【料金】 3,000円 (対象:高校生以上)

大人のための「不動洞」探検!夏の終わりに童心に戻って自然を満喫しませんか。

《応募方法》

往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、郵送。
※複数名でのお申込み(4名まで)は、全員
の住所、氏名、年齢、電話番号を明記。
中学生以下は保護者の参加が必要。
※メ切は開催日の10日前まで必着。

8月・9月の休館日

8月29日(月)

9月5日(月)・9月12日(月)

9月20日(火)・9月26日(月)

夏休み期間中は休まず開館しています。
皆さまのお越しをお待ちしています。

いきもの探訪録

7月12日

全長約1.5mの
ヘビの抜け殻

アオダイショウ?

7月21日

桃色の
美しいガ
に成長するよ

モモイロ
ツマキリコヤガ(幼虫)

毎年、ヨコヅナサシガメがいる桜の木のくぼみに
ホースのような形の物体を見つけました。

「エンドツドロバチ」の巣のようです。



7月27日

蜂の姿は巣の中や周囲にも見当たりません。
エンドツドロバチは、日本ではメスしか見つかって
おらず単為生殖で繁殖していると考えられています。

ヨコヅナサシガメ
卵と幼虫の集団

展示イベント

開催中!

『きのこ写真展』

1Fエレベーターホール

7月1日~8月31日まで



『青龍窟ハイキング』7月16日(土)

幾多の歴史と伝説が残る青龍窟を目指してハイキング。洞窟が近づくと、洞窟内のヒンヤリとした冷気に導かれるように歩きました。窟神社・龍形岩・西洞窟など、洞窟ホール内をライトで照らしながら見学しました。



青龍窟 東洞窟



窟神社

龍形岩

ボランティアガイド研修

『不動洞ケイピング』7月24日(日)

今年の夏は約3年ぶりにケイピング(洞窟探検)イベントを開催します。その下見を兼ねてガイド研修を行いました。ケイピング経験者7名と初心者5名で座学の後、不動洞を約2時間探検しました。イベントを安全に楽しんでもらえるよう、コースや案内事項を確認しました。

洞内気温 約15度

顔がどうにか水面に出る位の隙間ぐり



石のひっじだより

夏本番

7月中旬、セミの大合唱が始まりました。メスをめぐるオスセミたちの大声合戦を応援しながら夏を楽しみましょう。



キアゲハ(幼虫)



ツユムシ

キキョウ(キキョウ科)

7月11日



ベニシジミ

ノヒメユリ(ユリ科)

7月16日



ヒオウギ(アヤメ科)



キカラスウリ(ウリ科)



コオニユリ(ユリ科)



カワラナデシコ(ナデシコ科)

きのこの世界

台風4号と線状降水帯が過ぎ去った後、潤った森にはいろいろなきのこが発生していました。



キイボカサタケ



フサヒメホウキタケ



アカダマキヌガサタケ



ドクツルタケ



シロキツネノサカズキ



テングタケ



ヒトクチャケ



クロノボリリュウタケ



ベニタケの仲間

きのこホラーサスペンス 冬虫夏草

きのこに寄生されて生涯を終えた虫。自然界で増えすぎた虫の数を抑制しているという説があります。



土の中で白い菌糸に覆われた幼虫

【宿主】

ツクツクボウシの幼虫



【宿主】

ミズアブの幼虫?

2022年 9月号 (No.266)

平尾台自然観察センター

〒803-0180

福岡県北九州市小倉南区平尾台1-4-40

TEL.093-453-3737 FAX.093-452-3739

✉ hiraodai@cronos.ocn.ne.jp

【開館時間】 9:00～17:00

【休館日】 月曜日 (祝日の場合は翌日)



イベント報告

9月の催し物

『親子でドキドキ洞窟大冒険』

(不動洞ケイビング) 7月31日(日)

約3年ぶりのケイビングイベント。ヘルメットとライトを身につけ、不動洞を探検しました。大人も子どもも肩まで水に浸かり、冷たさに悲鳴があがりましたが、奥に進むにつれ楽しさが勝ってきたようでした。最奥では全員がライトを消して真の暗闇を体感しました。



不動洞から流れ出る川

洞窟内を流れる地下川

岩場あり

水中ありの大冒険

『初秋の野草観察会』

【日時】 9月11日(日) 9:00～12:30
キセワタなど初秋の野草を観察します。

『貫山展望登山(中級)』

【日時】 9月25日(日) 8:30～15:30
標高771.6m「貫山(企救富士)」までの景観を楽しむ、中級の登山イベントです。

『草刈りボランティア』

【日時】 9月15日(木)、21日(水)
27日(火)、30日(金)
9:00～12:00

『散策コース整備ボランティア』

【日時】 9月10日(土) 9:00～12:00

《応募方法》

往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、郵送。
※複数名でのお申込み(4名まで)は、全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記。
中学生以下は保護者の参加が必要。
※メ切は開催日の10日前まで必着。

9月 展示イベント

『野草写真展』 IFエレベーターホール
平尾台自然の郷「野草勉強会」による写真展
9月1日(木)～9月27日(火)まで開催

いきもの探訪録



ミンマサイコ(セリ科)に集まっていました。

まさに、削る前の饅頭

アカスジカメムシ(カメムシ科)

カツオゾウムシ(ゾウムシ科)

ハチに擬態

鳥のフンに擬態

ヤノトラカミキリ(カミキリムシ科)

トリノフンダマシ(コガネグモ科)

スタッフより



観察センターで勤務し始めて5カ月。お客様やボランティアさんと花や虫など平尾台のあれこれお話をできて楽しいです。

岩本 昌子 (イベント・広報)

『夏の野草観察会』 8月7日(日)

夏の平尾台を彩る草本を約70種を観察しました。青空と緑の草原を背景に咲くノヒメユリを撮影したり、ヒナノキンチャクの花と実、スズサイコの花と袋果などのガイドの解説を聞きながら、熱心にメモをとっていました。



ノヒメユリ撮影中

セミの大合唱を聞きながらの観察会

ボランティア活動報告

『YAMAPボランティア』8月6日(土)
毎月第一土曜日は、今年度から恒例となりました登山アプリのコミュニティ仲間の平尾台集結の日。8月は、九州自然歩道(千仏鍾乳洞方面)の整備と、ゴミ拾いを行いました。ゴミは、古い空き缶やビン類など20袋分も回収しました。



土砂上げ

回収したゴミ

ススキ出穂

天気の急変が多かった8月。次第に暑さも和らぎ、ススキや虫の音に秋を感じるようになりました。

ノヒメユリとススキ(ユリ科) (イネ科)



8月18日
夏から秋へ

ナンバンギセル(ハマツボ科)



8月21日

ススキなどイネ科植物を宿主とする寄生植物。ススキの根本をそっと探してみませんか。

サギソウ(ラン科)



ヒナノキンチャク(ヒメハギ科)



ミズタマソウ(アカバナ科)



ハナイカダの実(ハナイカダ科)



撮影成功!

「ミヤマアカネ」平尾台初・記録
「ホンドギツネ」念願のカラー写真

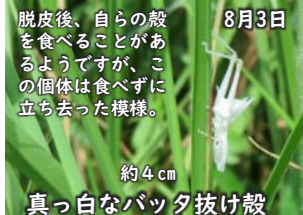


8月3日
翅に特徴的な帯状の模様
ミヤマアカネ(トンボ科)

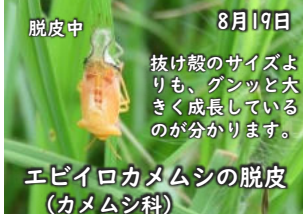


ホンドギツネ(イヌ科)
8月24日
しっぽは長く、先が白い

脱皮する虫



8月3日
脱皮後、自らの殻を食べることがありますが、この個体は食べずに立ち去った模様。
約4cm
真っ白なバッタ抜け殻



8月19日
脱皮中
抜け殻のサイズよりも、グンッと大きく成長しているのが分かります。
エビロカメムシの脱皮(カメムシ科)

福岡県や佐賀県で減少が著しいとされる準絶滅危惧「ミヤマアカネ」平尾台での記録は、今回初ということで、レッドデータ事務局に正確な位置情報を報告しました。何気なく撮影したトンボでしたが図鑑で調べてみると特徴が一致。平尾台にいることが分かった嬉しさ、些細なことでも写真を撮って調べることの大切さを感じました。

牡鹿鍾乳洞の飼猫のごはんを狙ってやってきた「ホンドギツネ」6月頃から昼間でも走り回る様子が目撃されていました。過去20年程の間で、スタッフがキツネに遭遇したのは夜間や霧の中など3回程。カラー写真が撮れたのは今回が初めてです。警戒心が強く、動きが素早いので、車の中からズームで撮影しました。

2022年 10月号 (No.267)

平尾台自然観察センター

〒803-0180
福岡県北九州市小倉南区平尾台1-4-40
TEL.093-453-3737 FAX.093-452-3739

✉ hiraodai@cronos.ocn.ne.jp

【開館時間】 9:00~17:00
【休館日】 月曜日 (祝日の場合は翌日)



イベント報告

『大人のための洞窟探検』
(不動洞ケイビング) 8月28日(日)
高校生以上を対象に、不動洞を探検しました。
観光化されていない洞窟に入るのは全員初めての
体験で、良い夏の思い出になったようでした。



『初秋の野草観察会』9月11日(日)
ススキ草原から林へと歩きながら、キセワタ・
イヌハギ・マルバハギ・オミナエシ・ヤナギア
ザミなど、約100種の草木を観察しました。



10月の催し物

『広谷台展望ハイキング』
【日時】10月9日(日) 9:00~15:00
広谷台・鬼の唐手岩を巡るハイキング。

『晩秋の野草観察会』
【日時】10月23日(日) 9:30~15:00
ウメバチソウ・ムラサキセンブリ・リンドウ
など、晩秋の野草を観察します。

『草刈りボランティア』
【日時】10月4日(火)、12日(水)
18日(火)、21日(金)
27日(木) 9:00~12:00

『散策コース整備ボランティア』
【日時】10月8日(土) 9:00~12:00

【応募方法】
往復ハガキにイベント名、住所、氏名、
年齢、電話番号を明記の上、郵送。
※複数名でのお申込み(4名までは)、全員
の住所、氏名、年齢、電話番号を明記。
中学生以下は保護者の参加が必要。
※×切は開催日の10日前まで必着。

10月 展示イベント

『フォトクラブ「華蓮」写真展』
平尾台自然の郷を拠点に活動する
フォトクラブ「華蓮」による写真展
10月1日(土)~10月25日(火)まで開催
1Fエレベーターホール

『カルスト文化祭』作品募集

平尾台をテーマにした写真・絵画・
俳句・工作などを募集します。
応募作品は『カルスト文化祭』と
題して、11月より館内に展示させ
ていただきます。

【応募締切】10月28日(金)
ご応募の際は、まずはお知らせください。

いきもの探訪録

石のひっじ だより

秋景色 9月は2度の台風に見舞われました。台風が過ぎ去った後、
草原一面にススキが広がり、一段と秋が深まりました。



夕暮れの羊群原
9月21日 午後18:00頃



いわし雲とススキ
9月26日 午前10:00頃



イヌハギ
(マメ科)



キセワタ
(シソ科)



ヤナギアザミ
(キク科)



オミナエシ
(オミナエシ科)

傘のない不思議なきのこ 『オニフスベ』



9月17日

未成熟
白く弾力がある



《9日後》9月26日

成熟すると、
外被がはがれて胞子を飛ばす



オニフスベ
(ハラタケ科)

約20cm

草地に拾い忘れたボール?! いいや
まさか頭蓋骨...と、全国で大騒ぎ
になることもあるという、白い球体
のきのこ「オニフスベ」。幼菌~未
成熟なものは食用になりますが、成
熟すると茶色くなり、内部に胞子の
粉が充満するため食べられません。

洞窟の最奥で出会った! 『白いヤスデ』



約3.5cm

8月28日 不動洞

ケイビングイベントで不動洞を
訪れた際、白いヤスデに出会
いました。洞窟内で一生を過ごす
「真洞穴性生物」でしょうか。
皮膚の色素が消失しています。
平尾台固有種の可能性もある?!



貫山 (標高 711.6m)

貫山山頂の温度計
23度 (午前11:00頃)

NHK 「にっぽん百低山」
にも選ばれた貫山

ボランティア活動報告

『草刈り・外来種駆除ボランティア』
散策路や駐車場の草刈りと外来種駆除の活動を
行いました。9月もたくさんのボランティアの
方々にご参加いただきました。

9月3日
セイタカアワダチソウ駆除

9月21日
茶ヶ床園地 草刈り



8月29日
ヒヨドリノヒナ



8月31日
ヤマトタマムシ

2022年 11月号 (No.268)

平尾台自然観察センター

〒803-0180

福岡県北九州市小倉南区平尾台1-4-40

TEL.093-453-3737 FAX.093-452-3739

✉ hiraodai@cronos.ocn.ne.jp

【開館時間】 9:00～17:00

【休館日】 月曜日 (祝日の場合は翌日)



イベント報告

『晩秋の野草観察会』 10月23日(日)

ムラサキセンブリやリンドウなど約100種類の草木を観察しました。春夏秋と開催してきた野草観察会も、今年度はこれにて終了です。また来春からたくさんの野草との再会をお楽しみに。

銀色に輝くススキ



本日の最高峰「岩山」



リンドウ (リンドウ科)



晩秋の羊群原

ボランティア活動報告

『青龍窟ケイビング』 10月25日(火)

ボランティア研修としては約3年ぶりに青龍窟に入洞しました。全身どろんこになって匍匐前進する体験も久しぶり！生き物との出会いや美しい鍾乳石に感動しっぱなしでした。



ユビナガゴウモリ

冬眠を始めています



研修に参加した8名のボランティア



サワガニ

前夜に降った雨で洞窟内に流れ込んだ!?



無事出洞

全身どろんこ

『外来種駆除ボランティア』

セイタカアワダチソウの駆除を中心に行いました。山の会など団体での参加も増えています。



アタック山の会

10月2日

駆除の様子



日本山岳会

10月8日

事前説明の様子

11月の催し物

『晩秋のきのこ観察会』

【日時】 11月6日(日) 9:00～14:00
きのこ探しと名前調べ(同定会)を行います。

『塔ヶ峯登山』

【日時】 11月20日(日) 9:00～15:30
塔ヶ峯の岩壁と紅葉を楽しみ登山イベント。

『草刈りボランティア』

【日時】 11月1日(火)、8日(火)
9:00～12:00

『散策コース整備ボランティア』

【日時】 11月12日(土) 9:00～12:00

《応募方法》

往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、郵送。
※複数名でのお申込み(4名まで)は、全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記。
中学生以下は保護者の参加が必要。
※メ切は開催日の10日前まで必着。

11月 展示イベント

『カルスト文化祭』

平尾台を題材にした応募作品
写真・絵画・工作などを展示します。
11月1日(火)～1月31日(火)まで開催
1Fエレベーターホール・展示室

いきもの探訪録



アナグマ 9月28日

目が合うと側溝に逃げ込みました。



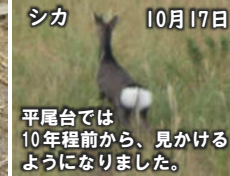
オオスズメバチ 9月28日

ノダケの花の蜜に夢中♡



ツマグロヒョウモン(幼虫)

10月5日
春～秋まで見かけるヒョウ柄模様の蝶の幼虫



シカ 10月17日

平尾台では10年程前から、見かけるようになりました。



ハラビロカマキリ

産卵中 10月20日

生まれたての卵鞘は青色



マムシ(死骸)

10月23日

翌朝、カラスが啗えて飛び立つ瞬間を目撃!

石のひっじだより

晩秋の平尾台

来年の野焼きに向けて、防火帯の草刈り・火入れが行われています。花の開花もそろそろ終盤。

2月に行われる野焼きの延焼を防ぐための「防火帯づくり」が行われています。



防火帯 火入れ 10月23日 四方台

防火帯 草刈り 10月10日 周防台



ムラサキセンブリ (リンドウ科) 蜜に集まるアリ



タカネハンショウヅル (キンポウゲ科)



石灰岩から生えたと根性!

ヤクシソウ (キク科)



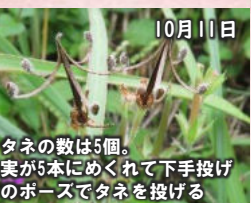
ウメバチソウ (ニシキギ科)



ヒメヒゴタイ (キク科)

花から実・タネへ

花が終わり、実やタネに姿を変えて、次の命の支度をしている植物たちを観察しました。

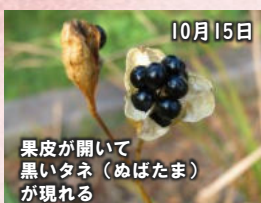


10月11日



ゲンシヨウヨ

タネの数は5個。実が5本にめぐれて下手投げのポーズでタネを投げる
花期 (7～10月)



10月15日

果実が開いて黒いタネ(ぬばたま)が現れる
花期 (7～9月)



ヒオウギ

花期 (7～9月)



10月17日



ナンバンギセル 寄生植物

ほこりのように小さなタネが数万個も詰まっている
花期 (8～10月)



10月23日

花冠の上に赤い実をつける
花期 (8～10月)



ツルリンドウ

花期 (8～10月)

2022年 12月号 (No.269)

平尾台自然観察センター

〒803-0180

福岡県北九州市小倉南区平尾台1-4-40

TEL.093-453-3737 FAX.093-452-3739

✉ hiraodai@cronos.ocn.ne.jp

【開館時間】 9:00～17:00

【休館日】 月曜日 (祝日の場合は翌日)



イベント報告

12月の催し物

『晩秋のきのこ観察会』11月6日(日)

福岡きのこ友の会から講師をお招きし、午前は森できのこ探し、午後から同定会を行いました。雨が少なく、きのこの発生を心配していましたが、約50種も見つけることができました。



きのこ観察



チシオタケ



美しい紫色
ムラサキシメジ?



きのこの解説

名前が分かったきのこ28種

『塔ヶ峯登山』11月20日(日)

平尾台のトンガリ山「塔ヶ峯(582m)」に大平山からのなだらかなコースで登りました。塔ヶ峯への尾根道からは、森の中を紅葉や岩渡りを楽しみながら進みました。



塔ヶ峯 (582m) 大平山 (586.5m)

11月14日
井手浦よりドローン撮影



塔ヶ峯への尾根道

木や岩に
手をつきながら進む



塔ヶ峯展望台

記念撮影



コース終盤は
再び草原へ

ボランティア活動報告

『草刈りボランティア』11月1日(火)

中峠・キス岩方面の草刈りと、観察センター前駐車場のツツジの剪定を行いました。



駐車場のツツジ剪定



草刈りの様子

『九州自然歩道(カルスト台地)登山(中級)』

【日時】 12月4日(日) 9:00～15:30

【料金】 参加無料

冬の平尾台を楽しみながら、大平山～千仏～不動坂へと九州自然歩道を歩きます。

『コウモリ観察会』

【日時】 12月18日(日) 9:00～12:30

【料金】 中学生以上 500円、小学生 300円

鍾乳洞で冬眠中のコウモリをそっと観察します。他の洞窟性生物にも出会えるかも!?

『散策コース整備ボランティア』

【日時】 12月10日(土) 9:00～12:00

《応募方法》

往復ハガキにイベント名、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、郵送。
※複数名でのお申込み(4名まで)は、全員の住所、氏名、年齢、電話番号を明記。
中学生以下は保護者の参加が必要。
※メ切は開催日の10日前まで必着。

年末年始の休館日

【休館期間】 2022年12月29日(木)～
2023年1月3日(火)まで

新年は2023年1月4日(水) 9:00より開館します。

空から見た平尾台



大平山

貫山

防火帯 延長箇所

中峠

広谷湿原

【撮影】 2022年11月7日

2月の野焼きの際に延焼を防ぐための「防火帯」が、中峠～広谷方面に、延長963m×幅16m、面積15,408㎡、延長されました。10月から防火帯の草刈りが始まり、11月5日(土)に火入れが行われました。火入れ時は安全のために一般散策者の立入規制が行われました。ご協力いただきました皆さま、誠にありがとうございました。野焼き本番の安全も祈念いたします。

石のひっじだより

平尾台と紅葉

11月、昼夜の気温差が大きくなると、木々の紅葉よりも一足早く「草紅葉」がピークに。

草紅葉 (くさもみじ)
11月9日 大平山

紅葉
11月14日 塔ヶ峯

ススキやヨモギのグラデーション
色の変化は10月下旬～11月下旬頃まで

草紅葉に少し遅れて
岩壁を彩る木々の紅葉や褐葉



ツタ (紅葉)



ヤマノイモ (黄葉)



コマユミ (紅葉)



ヤマコウバン (褐葉)

きのこの生存戦略

知れば知るほど深みにハマる?! ～きのこの世界～

毒きのこ 見分けられますか?

「ニガクリタケ」



ニガクリタケ
11月16日

似ている食用きのこ



ナラタケ
11月6日



クリタケ
11月16日

ニガクリタケは、平尾台でごく普通に見られる毒きのこです。ナラタケとクリタケは、同じ時期に同じような環境に発生する可食きのこ。野生のきのこは目で楽しむだけにしましょう。



スツポンタケ
11月6日

胞子が混ざった粘液が匂いを放つ

臭い匂いで虫をおびき寄せ
虫に胞子を媒介させる



ツチグリ
11月16日

成熟すると胞子が出る穴があく

雨で湿度が高い日に外皮を星型に広げて胞子を散布する